

『南蛮屏風のなかの長崎』



南蛮屏風は、いまだ写真がなかった16-17世紀の日本を伝える貴重な視覚資料である。そして、そこには世界の貿易港として知られた長崎が描かれている。当時の長崎は、日本人の憧憬の地であった。南蛮屏風は、日本の小さな港湾都市であった長崎が当時いかに大きな存在であったかを我々に教えてくれる——短い時間ですが、16-17世紀の長崎を、皆さんと一緒に彷徨ってみることに致しましょう。

日 時：2025年2月22日(土) 14:30～16:30 (14:00開場)

場 所：長崎歴史文化博物館 1階ホール (長崎市立山1丁目1-1)

講 師：増崎 英明 氏 (長崎大学名誉教授)

どなたでもご参加が可能です (入場無料・事前申し込み不要)